

永山百寿大学における講義

於 永山公民館
2010年9月16日
日本銀行旭川事務所
尾家 啓之

本日の話題

はじめに

第1章 わが心の故郷旭川

第2章 経済とは

第3章 デフレについて

まとめ

はじめに

【日銀豆知識その1】

日本銀行券は法貨として無制限に通用するが、硬貨は何枚まで通用するか？

【日銀豆知識その2】

日本銀行券の製造原価はいくらか？

【日銀豆知識その3】

日本銀行券の製造原価と額面の差額は日銀の利益か？

日銀と北海道との出会い 日本銀行最初の営業所(開拓使あと) (1882年<明治15年>)



最初の日本銀行券



大黒札（旧一円券）

日銀の旭川最初の拠点

北海道支店(現函館支店)管下に旭川派出所設置(1897年<明治30年>現3条通12丁目)。

- 時代背景

- 旭川開村(明治23年)の7年後。
- 1年後(明治31年)に国鉄旭川駅開業。
- 2年後(明治32年)に旧陸軍第七師団旭川移転が決定(各隊は明治33年、司令部は明治34年に移駐)。

- 業務

- 支庁金庫事務、第七師団国庫金関係事務、為替業務などをつかさどる。
- 明治39年に北海道銀行(昭和9年旧拓銀に合併)にその機能を委譲し、一旦撤退。

戦後に旭川事務所設立

旭川事務所設立(1946年<昭和21年>)

- 当初、2条通8丁目。1965年(昭和40年)、4条通9丁目(現在地)に移転。

(主な業務)

- 道北地域における日銀券の円滑な流通
- 道北地域における金融経済情勢の調査
- 道北地域における広報活動、情報発信

第1章 わが心の故郷旭川

(I'm going to leave my heart in Asahikawa)

~My favorite things in Asahikawa~

- とても魅力的な街。日本語が通じる外国に来ているようだ(異国情緒)。一方で、明治がある、大正がある、昭和がある。その他、すぐれた素材がたくさんある。
 - 雄大で美しい自然環境(大雪山系、川、野草園、花畑、牧場)。清らかな空気・水。
 - 豊かな食材(米、野菜、海の幸・山の幸、スイーツ)。ラーメン。蕎麦。ジンギスカン。
 - 高度な医療サービスの集積。
 - 素朴で温かい人柄。オープン・マインド。
 - アクセクしていない、ガツガツしていない。謙虚。堅実。勉強熱心。
 - 交通ストレスの少ない社会(通勤・通学ラッシュなし、交通渋滞なし)。
 - 大きすぎず、小さすぎない。フェース・トゥ・フェースの温かさ。
 - 永山武四郎のビジョン。歴史と文化。北海道の中心、堂々とした地方中核都市。

しかし、・・・

- 旭川に直接所縁のない人たちにはあまり知られていない。
 - 北海道第二の都市。東北以北で第三の都市。県庁所在地にも匹敵する都市。
 - 動物園の復活劇は快挙(ビジネス・モデル)。映画はプラス。さらなるPRの重要性。
 - 転勤族、独身族をもっと活用して。全国ネットワークへ。

- 街や地域が活性化していれば人は来る。
 - 旭川大雪観光文化検定導入はいいスタート。
 - いろいろなことにチャレンジしうごめいているさま。行ってみたいと思えるか。話題性・ストーリー性が大事。

第2章 経済とは

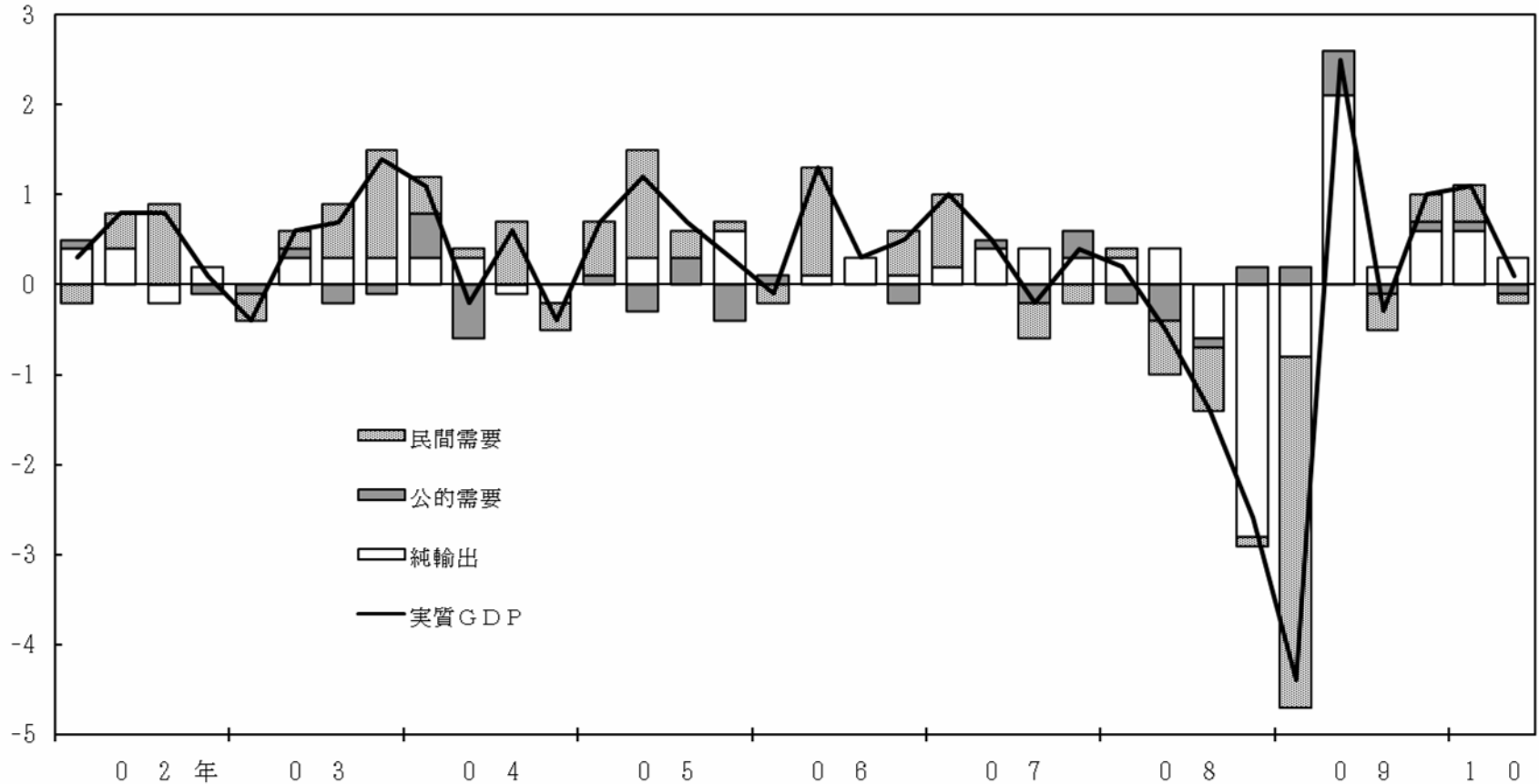
- 「**経**世**済**民」(世の中を治め、人民の苦しみを救う)・・・葛洪(かつこう、283～343年、東晋時代の道教研究家)著「抱朴子(ほうぼくし)」(317年頃)に記載。
- 英語のeconomyを「経済」と訳したのは福澤諭吉翁。
- 英語のeconomyは、ギリシャ語のoikonomia(家計を遣り繰りするルール、家政)が語源。それが転じて、「共同体を運営させるあり方」の意にも。

経済をどのように捉えるか

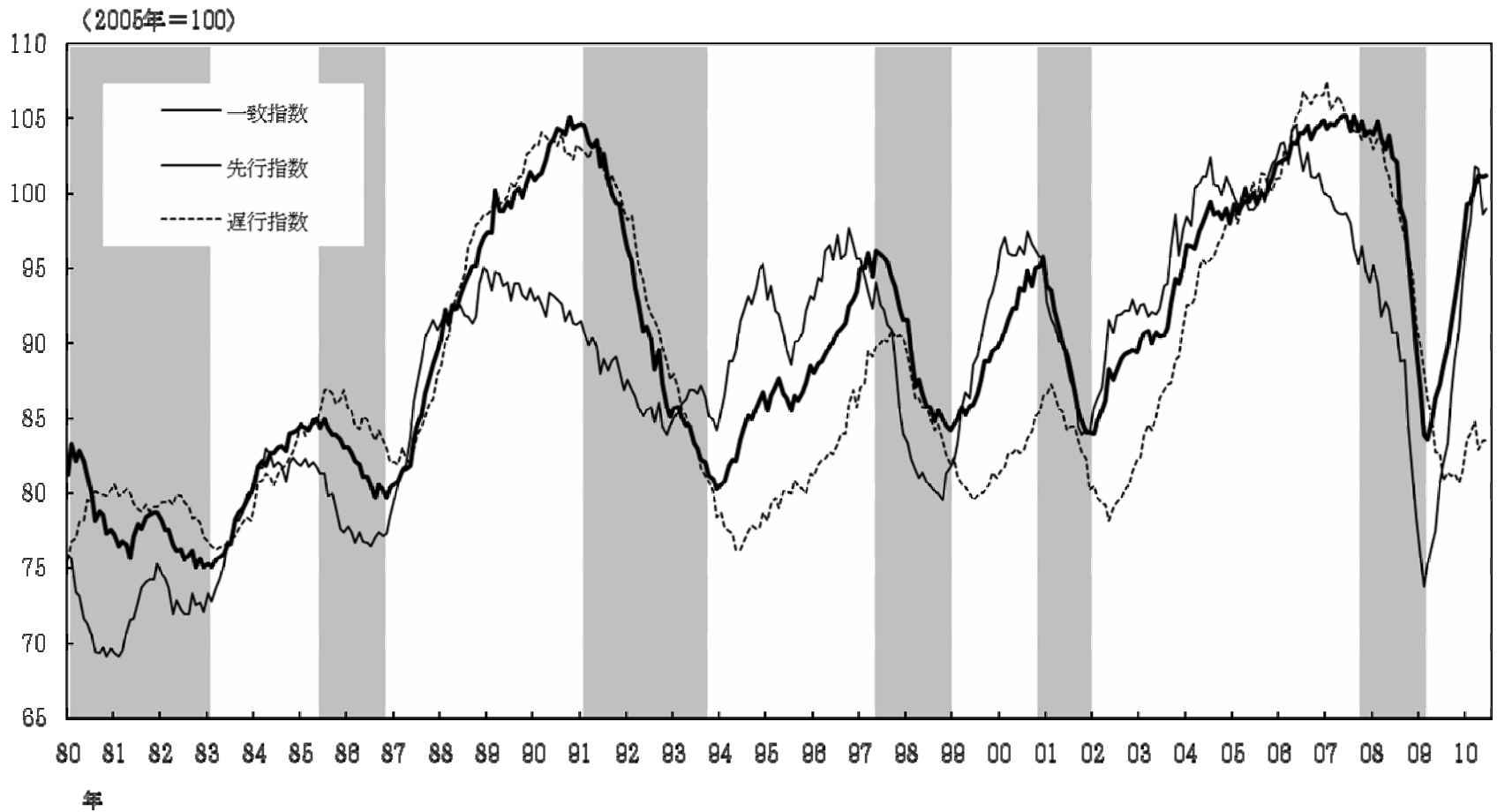
- 実質GDP（個人消費、設備投資、住宅投資、政府支出、純輸出＜輸出－輸入＞）
- 生産
- 雇用
- 株価
- 各種アンケート調査（日銀短観ほか）

実質GDPの推移

(季調済前期比、寄与度、%)



景気動向指数



日銀短観とは

- 正式には、企業短期経済観測調査。
- 日銀が、企業(全国約1万社)に対して行うアンケート調査。
- 調査項目
 - ① 自社の業況や、経済環境の現状・先行きに関する判断
 - ② 売上高や収益、設備投資など事業計画に関する実績と予測

業況判断D. I. とは

- 自社の収益を中心とした全般的な業況が、
 - ① 良い
 - ② さほど良くない
 - ③ 悪いのいずれかを選択。
- ①と回答した企業の構成比(%)－③と回答した企業の構成比(%)、単位：%ポイント

(注) D.I. = Diffusion Index(拡散指数)の略。

道北地域(54社)の短観結果 業況判断D.I.

＜上川・宗谷・オホーツク総合振興局管内＞

〔回答社数構成比%ポイント
()内は前回調査時予測〕

(判断D. I.)

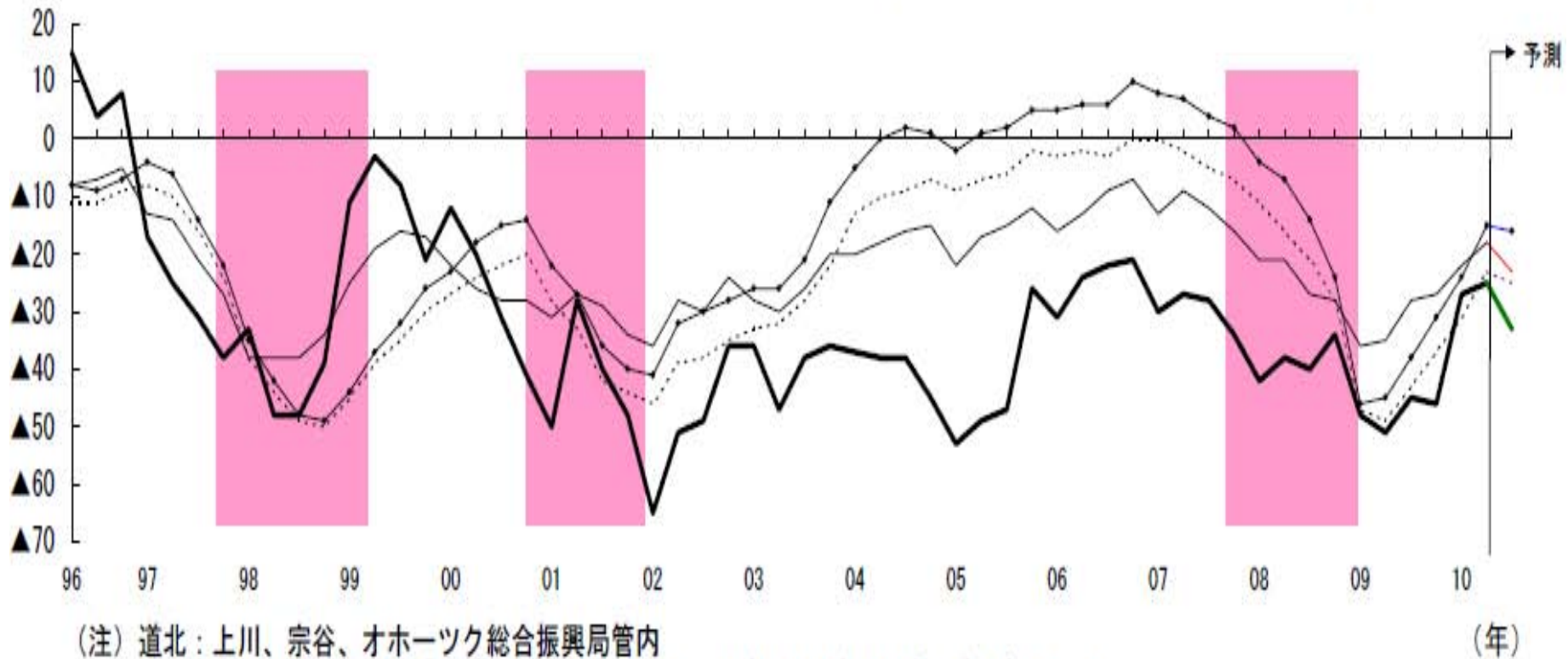
	21/3月	6月	9月	12月	22/3月	6月	9月までの 予測
業況判断 ＜良い－悪い＞	▲48	▲51	▲45	▲46	▲27	(▲46) ▲25	▲33
うち製造業	▲62	▲54	▲58	▲36	▲9	(▲37) 0	▲18
非製造業	▲42	▲50	▲41	▲47	▲32	(▲47) ▲30	▲35

(注)21/9月以前は調査対象企業等見直し前の旧ベース、21/12月以降は見直し後の新ベース。

業況判断D.I.(全産業)

業況判断D. I. (「良い」 - 「悪い」、%ポイント)

— 道北 — 北海道 — 全国 …… 全国(中小企業)



(注) 道北：上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内

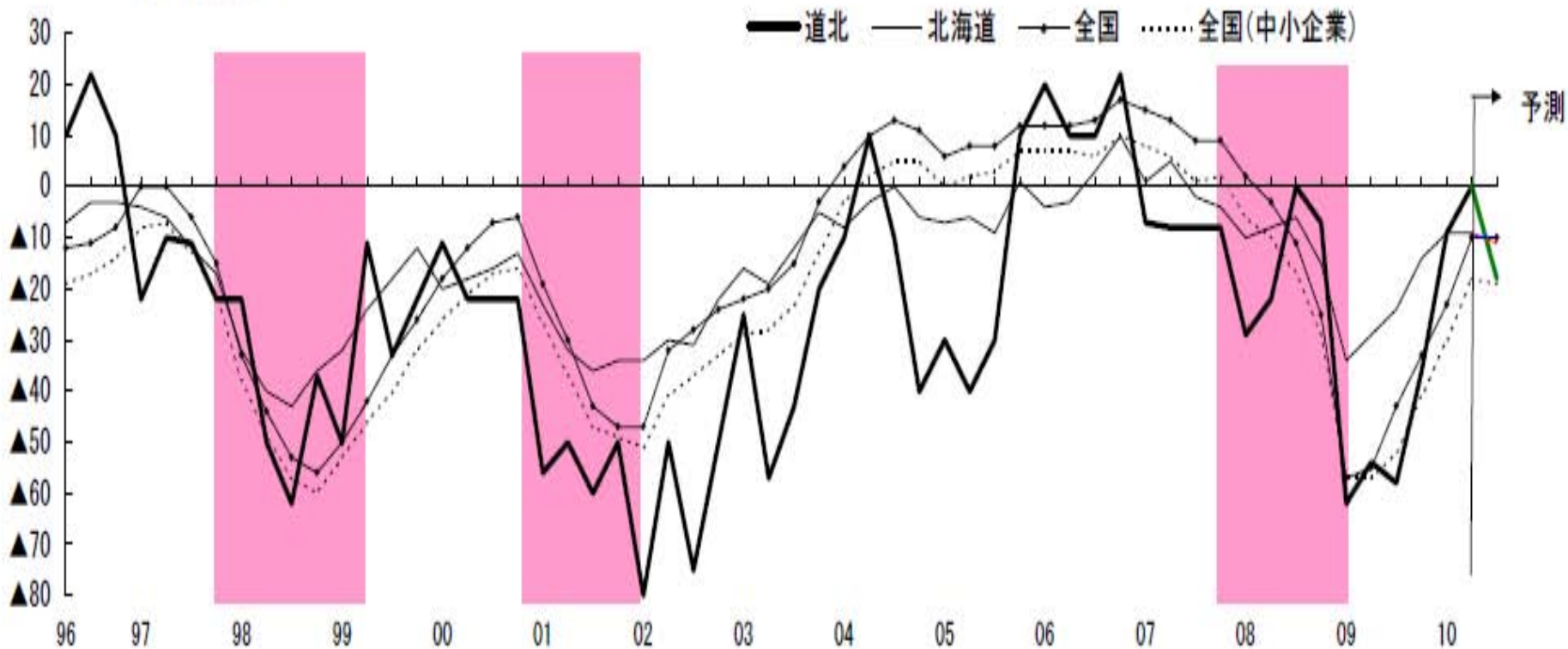
21/9月以前は調査対象企業等見直し前の旧ベース、21/12月以降は見直し後の新ベース。

■ シャドーは景気後退期 (内閣府調べ)

(年)

業況判断D.I.(製造業)

(同) 製造業



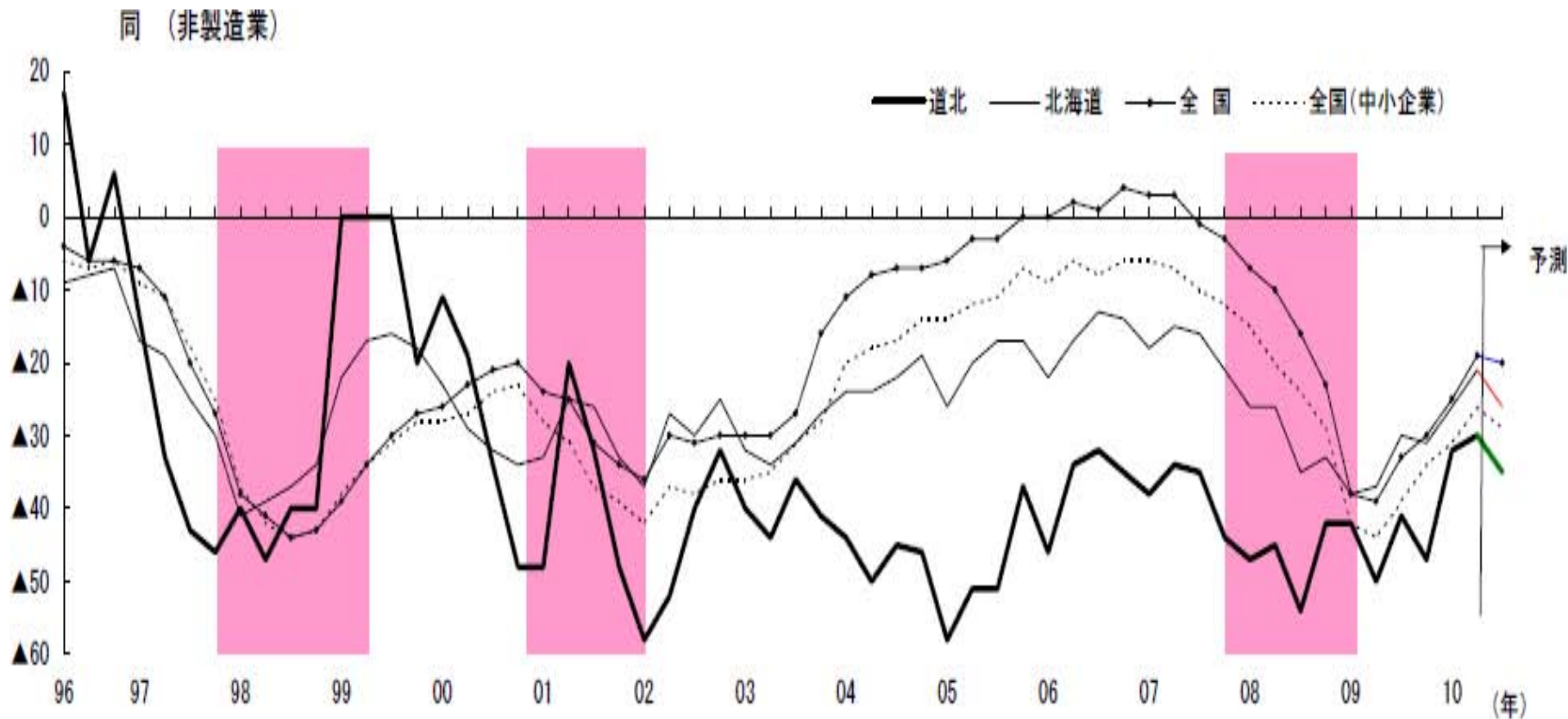
(注) 道北：上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内

21/9月以前は調査対象企業等見直し前の旧ベース、21/12月以降は見直し後の新ベース。

■ シャドローは景気後退期 (内閣府調べ)

(年)

業況判断D.I.(非製造業)



(注) 道北：上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内

21/9月以前は調査対象企業等見直し前の旧ベース、21/12月以降は見直し後の新ベース。

シャドーは景気後退期 (内閣府調べ)

第3章 デフレについて

- これまでのデフレ論争について違和感。
 - 「ユニクロ栄えて国滅ぶ」(亡国論)
 - 「ユニクロは国賊か英雄か」
- ⇒ デフレの本質、根本的原因を正しく理解することが肝要。

デフレの根本原因

- 「需要不足」(白川総裁)

—— 総供給(能力) > 総需要

—— 潜在GDP > 実際のGDP

(潜在GDP - 実際のGDP = 需給ギャップ)

中長期的経済の話

- 中長期的にみて経済の現状をどのように捉えるか？

時間軸：戦後の復興期→高度成長期→安定成長期→平成バブルとその後の10年、20年。実感のない景気回復局面。

新興国 vs 先進国（ねじれ世界経済）

- わが国経済が抱えている根本的課題は何か？

人口減少下での成長期待の低下。将来不安。

⇒ 根拠のある不安はその原因を取り除くことが必要。しかし、根拠のない不安に陥っている余裕はない。

⇒ 根本的課題は、(潜在)成長率の向上、生産性の向上。

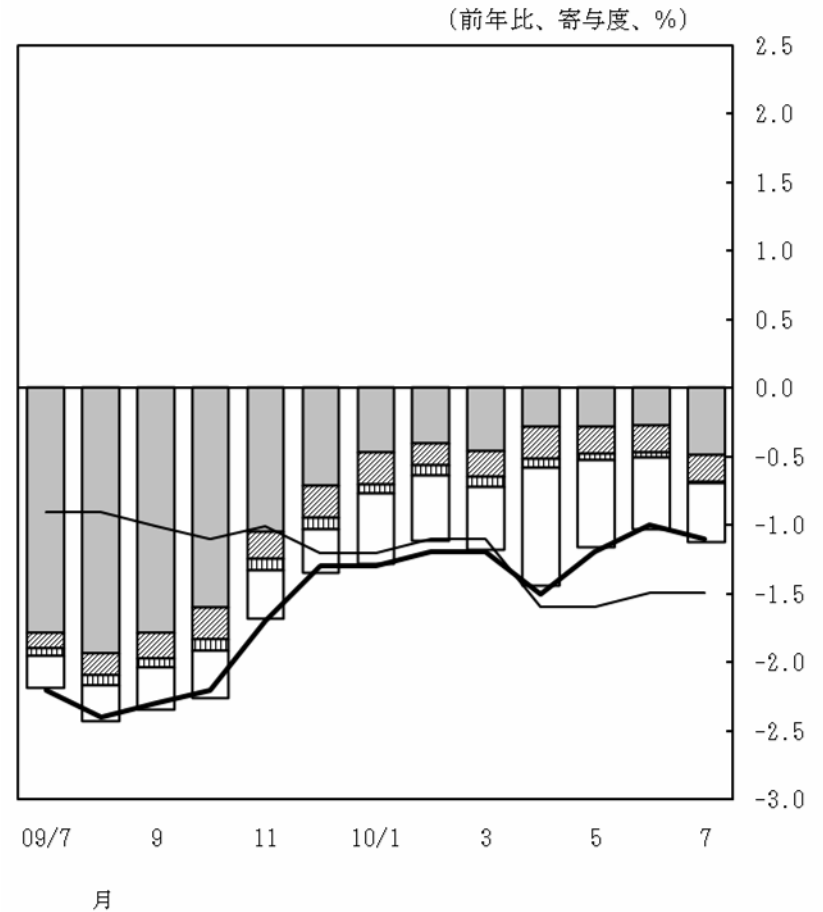
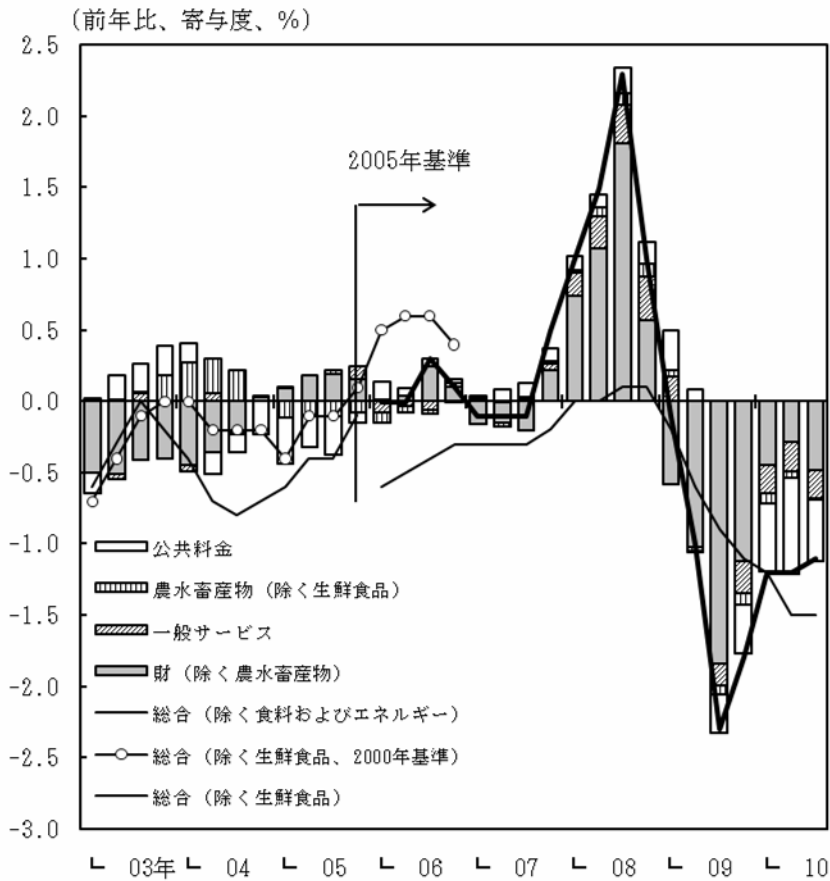
惑わされてはならない もっともらしい主張

- 「(わが国経済が抱える現下の最大の問題はデフレである。)デフレは貨幣的現象なのでマネーを増やさえすればデフレは解決する」との一見もっともらしい主張は効果的な経済政策とは考えられない。
—— 経済の実体は変わらないのに、物価だけが上昇する状況を是とすべきか。
- デフレは克服すべき極めて重要な課題である。ただ、その原因は需要不足。そしてその需要不足は、わが国の潜在的な成長力不足が原因。

日銀の考え方

- 日銀（政策委員）が中長期的にみて物価が安定していると理解する物価上昇率
1. 消費者物価指数の前年比が2%以下のプラスの領域にあること（ゼロ%以下のマイナスの値は許容しない）。
 2. その中心は1%程度。

消費者物価（除く生鮮食品）



どうすればよいか

➤ 潜在需要を掘り起こし、趨勢的な成長期待を高めていくこと。一人当たりの生産性を高めること。

(1) グローバル需要、新興国需要の取り込み

(2) 潜在需要に対応する供給体制の確立

(3) 生産性向上

・・・根拠なき悲観主義、気分としての悲観主義からの脱却

まとめ

(1) 経済成長を続けるためには・・・

[供給面]

労働力人口：15～64歳人口は、今後年率1%程度で
減少が続く

⇒労働生産性を高めていく：教育、工夫、意欲を引き出すシステム作り

[需要面]

国内人口 : 高齢化が進みつつ減少方向に
⇒需要の中身が変化

海外需要 : 長い目でみれば成長分野
⇒アジアは「国内」と思え

(2) 北海道の将来性

地球温暖化は北海道にとってフォロー

- 食: 安全・安心、アジア・世界の食糧基地
- 観光: 世界自然遺産(知床)、国立公園、スキー、動物園、博物館。渋滞なし。個人・滞在・体験(学習)型へ。
- 環境: 太陽光、風水、雪氷エネルギーの活用。バイオ。
- 前提: お上、他人に頼らぬ精神。人材育成。

(3) 旭川の挑戦

- ⇒ 旭川は、外者も利用しながら、地域活性化のために一致団結せよ。
- ⇒ 若者が住みたいと思える仕掛けを。そして、若手人材を育てよ。
- ⇒ 農業(食品加工を含む)、観光、高度な医療サービスを、一段と活かした地域戦略を実行せよ。

ご清聴

誠にありがとうございました